



2011年8月2日

各位

東京都品川区南大井六丁目25番3号
日本通信株式会社
代表取締役社長 三田 聖二
(コード番号:9424)
問合せ先 代表取締役専務 CFO 福田 尚久
電話 03-5767-9100 (代表)

繰延税金資産の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

日本通信株式会社(以下、「当社」という)は、2011年3月期第3四半期から当第1四半期まで3四半期連続で当期純利益を計上したことから、このたび繰延税金資産150百万円を計上し、これに伴い、2011年5月12日に公表した2012年3月期(2011年4月1日~2012年3月31日)の連結業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせします。

記

1. 2012年3月期(2011年4月1日~2012年3月31日)の連結業績予想数値の修正

(単位:百万円、1株当たり当期純利益のみ円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	4,056	368	336	328	245.27
今回修正数値(B)	4,056	368	336	478	357.13
増減額(B-A)	—	—	—	150	
増減率(%)	—	—	—	45.7	
(ご参考)前期実績 (2011年3月期)	3,642	▲74	▲273	▲359	▲268.94

2. 修正の理由

当社は、(1)2011年3月期第3四半期から当第1四半期まで3四半期連続して1億円以上の当期純利益を計上したこと(単体)、(2)2012年3月期の業績として一定の当期純利益の計上を予想していること、及び(3)税務上の累積損失を32億円有していることから、2012年3月期の利益に対する税務効果として、このたび繰延税金資産150百万円を計上することとなりました。

これに伴い、2012年3月期の連結業績予想のうち当期純利益を478百万円に修正いたします。なお、売上高、営業利益、経常利益については、2011年5月12日に公表した期初予想からの修正はありません。

以上

■日本通信について

1996年5月24日、日本通信は新たなモバイルサービス事業のあり方を提示するため生まれました。それから13年の歳月を経て、2009年3月、NTTドコモとの相互接続により「MSO事業モデル」を完成させ、それから2年弱でこのモデルの収益性を実証しました。ネットワークを効率的に運用する当社独自の先端技術やリアルタイムの認証技術などによって、ユニークな通信サービスをつくりだし、自社b-mobileブランド製品をお客様に提供するMVNO事業、及びメーカーやインテグレータ他のパートナー企業に提供するMVNE事業を展開しています。

MSO=Mobile Service Operator